

2014年度 後期			リフレクションペーパー				
学科名	生物環境化学科						
科目名	公衆衛生学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	神武洋二郎						
授業の到達目標 (シラバスから)	・公衆衛生学の概念と重要性について説明できる。 ・疫学の目的とその方法論の概略について説明できる。 ・主要な感染症とその病原体、食品衛生の保持について説明できる。 ・生活習慣病の現状と発症要因について説明できる。 ・社会保障の概念と種類について説明できる。						
日程と内容	9/15：導入講義（授業の進め方・成績評価法）、公衆衛生の概要と歴史 9/22：人口と保健統計-健康に関する各種統計- 9/29：疫学-疾病の発生要因・疫学調査法- 10/6：母子保健-概要と制度- 10/13：成人保健-メタボリックシンドローム・悪性新生物- 10/20：成人保健-心疾患・糖尿病- 10/27：高齢者保健-現況と制度- 11/17：中間まとめ 11/24：感染症-種類と予防-1 12/1：感染症-種類と予防-2 12/8：感染症-種類と予防-3 12/15：食品衛生-有害物質と食中毒 12/22：環境衛生-生活・地域・地球環境問題- 12/23：産業保健-職域の健康管理- 1/19：総合まとめ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題 演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	・公衆衛生学の概念と重要性について説明できる。達成した。 ・疫学の目的とその方法論の概略について説明できる。達成した。 ・主要な感染症とその病原体、食品衛生の保持について説明できる。達成した。 ・生活習慣病の現状と発症要因について説明できる。達成した。 ・社会保障の概念と種類について説明できる。未達成。						
反省点	教科書改訂により、本年度は教科書が購入できなかったため、授業ではプリントを配布した。統計データがふるいものもあった。来年度は改訂版があるので、最新の統計データを引用したい。						
来年度の計画	もう少し最新の知見を紹介し、学生の自己学習を促す工夫を行う。						
授業評価アンケートに対するコメント	分かりやすかったというコメントが多かった。特に不満のコメント等はなかった。						
履修登録者数	87 名	定期試験 受験者数	87 名	合格者数	84 名	合格率	97%